

咀嚼力、嚥下力が弱まった高齢者が、『少量』でも、**食事を楽しみ**ながら、かつ**十分に栄養が摂れる**食材の開発

- **咀嚼力、嚥下力が弱まる**と食事にかかる時間が長くなり**疲れてしまう**。そのため、食事を楽しめなくなってしまう高齢者がおられる。
- 一方で、**少量では満足できず**、食事が楽しめない。
- また、少量では**十分な栄養**を取ることができない。
- **朝食や夕食**の時間帯は、福祉施設では介護職員が少なく、また、家庭でも忙しい時間帯であり、食事の時のサポートが**介護者の負担**となっている。



- ティースプーン3杯くらいの分量で、**疲れず、おいしく食事を楽しめ、満足感が得られる**。
- かつ、栄養をぐっと凝縮してあり、**十分な栄養を取る**ことができる。  
⇒ そのような『食材』が望ましい。  
なお、水分は別に摂ることを想定。